

# 高雄日本人学校の風

校長 高口和治

## 3月1日(月)

朝8時20分に東日本震災2年目に当たり、各学級で黙祷をしました。各担任がそれぞれの思いを語り、教頭が放送で「東日本大震災に当たり、1分間の黙祷を行います。」と放送しました。

何回も書いていますが、私は、こちらに赴任して3日目。挨拶回りから帰ってきて知ることになり、仙台の娘と東京にいる息子がなかなか連絡がつかなく心配したものです。それぞれが、それぞれの記憶があると思います。

## 3月12日(火)

学校運営委員会で、毎回、学校移転のことが話題の中心の一つになっています。現在の様子について、2月22日に学校保護者に説明をした旨を報告しました。また、保護者にさらに詳しく説明が必要であろうから、また、意見をお聞きする場も必要であろうから、4月27日の土曜日にしようということになりました。特に安全面に関しての考えや工夫などが大事になるであろうということになりました。また、4月からは具体的に動くことが多くなるので、PTA会長だけでなく、副会長にも学校運営委員会に参加してもらい意見を述べてもらうことにしようということになりました。

教室や他の内装や安全の工事が始まるまでには、1年はまだあります。これから、設計などにはいりますので、意見を私でも学校運営委員のメンバーでもお寄せください。また、様々なことは、4月27日にお話が学校運営委員からあります。

## 3月13日(水)

渡辺先生の大学院の先生が渡辺先生の成長ぶりや台湾の漁業について視察にきました。当校の授業も何時間か視察をして帰りました。こちらに来ている若者のことを気にかけてくれています。ありがたいことです。先生には、私達も台湾の学校とも日常的に交流をしていることを実感していただきました。渡辺先生の送別会を4年生と烏山頭と一緒に行った先生とその校長先生をお招きして、食事会をしたところにお招きしました。

## 3月14日(木)

学校の歯科の先生と高雄の小学校の校長先生と飲む機会がありました。交流校に勤務していたこともあり、日本の学校について大変プラスに評価してくれています。6年生の修学旅行についても大変興味をもって、卒業旅行とこちらではいいですが、ただの遊び

としか私には見えず、実際、それをねらっています。しかし、日本の修学旅行は、学習をねらっています。ぜひ、勉強させていただきたい、とお願いされました。

## 3月16日(金)

離任式を行いました。

## 24年度終了です

1年間お世話になりました。また、4月からは6人の先生を迎え、再スタートです。移転の準備にも入らなくてはならず、一緒に物事をする機会も増えると思います。いいチャンスですので、積極的な参加をお願いします。また、引越先の安全面やどのような仕組みかとか心配があると、想像されます。学校運営委員会を中心に協議をしています。そこには、PTA会長、副会長、バス委員長が保護者の代表として参加していきます。また、委員長も事務局長も保護者です。私も含めてご意見を、ぜひお聞かせください。

また、4月27日には、学校移転について9月22日、2月22日について、3回目の説明を行います。学校公開IやPTA総会の日になります。

この1年、どうなるかと実はひやひやしていました。西村教頭も派遣され教員は大きな病気もなく、教育活動に大きな支障がでませんでした。子どもたちも、大病をせず、大きな事故もなくほっとしています。子ども達、保護者の皆様に感謝しています。

帰国する方、アメリカに行く方、様々です。私の経験からすると、かなりの方とその後もおつきあいをするようになります。現実、今も多くの方とつながっています。特に、台湾の方は、「日本人は、いるときにはいいつき合いをするのに、帰国したら、まったく連絡もよこさない」と言っている方もいます。

それでは、4月に他の地に行く方も含めて元気に学校登校の日を迎えられることを願って、1年を締めくくります。

ありがとうございました。